



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 東洋紡株式会社

上場取引所 東

コード番号 3101 URL <https://www.toyobo.co.jp/ir/>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）竹内 郁夫

問合せ先責任者（役職名）コーポレートコミュニケーション部長

（氏名）阪本 悟堂 TEL 06-6348-3044

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	110,373	7.3	7,132	28.1	6,626	55.3	3,072	95.3
2026年3月期第1四半期	102,910	△2.2	5,566	80.2	4,267	111.8	1,573	100.7

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 4,442百万円（124.3％） 2026年3月期第1四半期 1,981百万円（△55.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	34.82	—
2026年3月期第1四半期	17.84	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	620,657	250,349	34.3	2,414.65
2026年3月期	627,667	251,995	34.0	2,417.30

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 213,069百万円 2026年3月期 213,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	435,000	3.2	23,000	△17.6	18,500	△19.1	7,000	△37.4	79.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 ー 社 (社名)、除外 1 社 (社名) 東洋紡 S T C 株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	89,048,792株	2026年3月期	89,048,792株
2027年3月期1Q	808,657株	2026年3月期	804,024株
2027年3月期1Q	88,241,376株	2026年3月期1Q	88,169,159株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、世界経済が一部の地域において弱さがみられるものの、総じて緩やかな回復基調で推移しました。ただし、中東情勢や通商政策を巡る動向など、世界経済の不透明感は続きました。米国では、雇用環境に先行き不透明感がみられたものの、財政政策や企業の設備投資に支えられ、景気は総じて底堅く推移しました。中国では、不動産市場の低迷が続くなか、個人消費や民間投資の回復は力強さを欠き、景気停滞が続きました。国内においては、賃上げを背景とした所得環境の改善や企業の設備投資に支えられ、景気は緩やかな回復基調を維持しました。

こうした事業環境のもと、中東情勢悪化の影響を受けたものの、液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”およびセラミックコンデンサ用離型フィルムの販売が堅調に推移したことに加え、エンジニアリングプラスチックや工業用接着剤“バイロン”などの販売が増加した結果、収益が改善しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比75億円（7.3%）増の1,104億円となり、営業利益は同16億円（28.1%）増の71億円、経常利益は同24億円（55.3%）増の66億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同15億円（95.3%）増の31億円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を見直しています。以下の前第1四半期連結累計期間との比較については、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

（フィルム）

包装用フィルム事業では、原燃料価格高騰や調達リスクの高まりが懸念されるなか、販売面での見直しや生産性改善を進めたことにより、その影響は一部にとどまりました。工業用フィルム事業では、セラミックコンデンサ用離型フィルムはAIサーバー向けを中心に販売が順調に拡大しました。液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”は強い需要に支えられ、堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比40億円（8.9%）増の485億円、営業利益は同12億円（29.0%）増の52億円となりました。

（ライフサイエンス）

バイオ事業では、診断薬用および遺伝子検査試薬用の原料酵素は、海外向けの販売が堅調に推移しました。メディカル事業では、人工腎臓用中空糸膜の販売は堅調に推移しましたが、原燃料価格高騰の影響を受けました。医薬品製造受託事業では、事業環境の変化や設備更新に伴う対応などにより、販売が減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比11億円（13.4%）増の91億円となり、営業損失は5億円となりました（前年同期は営業利益2億円）。

（環境・機能材）

樹脂・ケミカル事業では、エンジニアリングプラスチックは、自動車用途を中心に販売が増加し、収益が改善しました。工業用接着剤“バイロン”は、海外向け電子材料用途の販売が堅調に推移しました。環境・ファイバー事業では、環境ソリューションは、中東情勢悪化の影響により、海水淡水化用逆浸透膜の販売が減少しました。高機能ファイバーは、“ザイロン”の需要回復を受けて販売が増加しました。不織布マテリアルは、長繊維不織布スパンボンドが建材用途を中心に回復し、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比34億円（13.5%）増の288億円、営業利益は同13億円（90.2%）増の28億円となりました。

（繊維）

衣料繊維事業では、中東向け特化生地は、中東情勢悪化に伴う販売の減少とコストアップにより、収益性が大きく低下しました。エアバッグ用基布事業では、生産効率の向上および海外拠点の集約を進め、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比8億円（4.1%）減の188億円、営業損失は4億円となりました（前年同期は営業損失1億円）。

（不動産、その他）

不動産、商事、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービス等の各事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比2億円（3.3%）減の51億円、営業利益は同1億円（8.8%）減の6億円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前年度末比70億円（1.1%）減の6,207億円となりました。これは主として受取手形及び売掛金や有形固定資産が減少したことによります。

負債は、前年度末比54億円（1.4%）減の3,703億円となりました。これは主として有利子負債が増加した一方で、支払手形及び買掛金や引当金が減少したことによります。

純資産は、配当金の支払により利益剰余金や非支配株主持分が減少したことなどから、前年度末比16億円（0.7%）減の2,503億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想については、中東情勢緊迫化に伴い、事業への影響を適正かつ合理的に算定することが困難であることから未定としていましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定しましたので、公表します。詳細は本日（2026年8月6日）公表の「通期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,107	29,783
受取手形及び売掛金	88,208	86,202
契約資産	732	812
電子記録債権	12,755	12,403
商品及び製品	66,699	64,603
仕掛品	23,401	24,368
原材料及び貯蔵品	37,955	39,626
その他	10,207	8,935
貸倒引当金	△521	△437
流動資産合計	270,543	266,296
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	88,751	89,795
機械装置及び運搬具（純額）	82,648	85,607
土地	92,402	92,394
建設仮勘定	23,022	17,083
その他（純額）	13,109	12,870
有形固定資産合計	299,932	297,751
無形固定資産	4,844	4,747
投資その他の資産		
その他	52,407	51,922
貸倒引当金	△59	△58
投資その他の資産合計	52,348	51,864
固定資産合計	357,124	354,361
資産合計	627,667	620,657

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,075	42,397
電子記録債務	1,773	1,797
短期借入金	54,700	59,903
コマーシャル・ペーパー	2,000	—
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	12,426	17,536
引当金	5,891	2,984
その他	25,730	24,728
流動負債合計	157,595	159,344
固定負債		
社債	67,000	67,000
長期借入金	108,345	101,380
再評価に係る繰延税金負債	18,956	18,956
役員退職慰労引当金	202	159
退職給付に係る負債	13,100	13,129
その他	10,474	10,340
固定負債合計	218,077	210,965
負債合計	375,672	370,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,730	51,730
資本剰余金	32,614	32,614
利益剰余金	76,238	75,780
自己株式	△845	△845
株主資本合計	159,737	159,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,064	1,793
繰延ヘッジ損益	13	74
土地再評価差額金	40,755	40,755
為替換算調整勘定	3,112	3,720
退職給付に係る調整累計額	7,632	7,447
その他の包括利益累計額合計	53,577	53,789
非支配株主持分	38,681	37,280
純資産合計	251,995	250,349
負債純資産合計	627,667	620,657

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	102,910	110,373
売上原価	77,726	83,006
売上総利益	25,183	27,367
販売費及び一般管理費	19,617	20,235
営業利益	5,566	7,132
営業外収益		
受取配当金	146	74
その他	558	688
営業外収益合計	704	762
営業外費用		
支払利息	671	768
為替差損	416	—
その他	916	499
営業外費用合計	2,004	1,268
経常利益	4,267	6,626
特別損失		
減損損失	—	225
固定資産処分損	324	167
投資有価証券評価損	—	392
事業構造改善費用	—	103
退職給付制度改定損	939	—
特別損失合計	1,263	887
税金等調整前四半期純利益	3,004	5,739
法人税等	1,034	1,658
四半期純利益	1,970	4,081
非支配株主に帰属する四半期純利益	397	1,008
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,573	3,072

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	1,970	4,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	△274
繰延ヘッジ損益	△5	△17
為替換算調整勘定	230	735
退職給付に係る調整額	81	△185
持分法適用会社に対する持分相当額	△333	102
その他の包括利益合計	11	361
四半期包括利益	1,981	4,442
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,651	3,284
非支配株主に係る四半期包括利益	330	1,158

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム	ライフサイ エンス	環境・機能 材	繊維	不動産	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	44,576	8,033	25,422	19,574	1,114	98,719	4,190	102,910	—	102,910
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	217	28	1,960	351	281	2,837	2,435	5,272	△5,272	—
計	44,793	8,061	27,382	19,925	1,395	101,556	6,626	108,181	△5,272	102,910
セグメント利益 又は損失 (△)	4,005	164	1,463	△83	498	6,047	203	6,250	△684	5,566

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種工業品の流通、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでいます。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△684百万円には、セグメント間取引消去109百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△793百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用です。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム	ライフサイ エンス	環境・機能 材	繊維	不動産	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	48,526	9,111	28,843	18,763	1,100	106,343	4,030	110,373	—	110,373
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	239	19	1,660	353	265	2,536	2,684	5,220	△5,220	—
計	48,765	9,130	30,503	19,117	1,364	108,879	6,714	115,593	△5,220	110,373
セグメント利益 又は損失 (△)	5,169	△478	2,783	△363	536	7,645	103	7,749	△617	7,132

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種工業品の流通、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでいます。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△617百万円には、セグメント間取引消去169百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△786百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用です。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、商事事業を行っていた連結子会社の再編に伴い、当社グループの組織体制を変更しました。これに合わせて報告セグメントの区分を見直し、従来の「機能繊維・商事」の名称を「繊維」へ変更し、従来の「機能繊維・商事」に含まれていた一部事業を「その他」へ報告セグメントを変更しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しています。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	5,859百万円	6,958百万円